

坂出市教育委員会点検・評価報告書  
(令和4年度事業)

令和5年7月10日  
坂出市教育委員会

## I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものである。

## II. 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、個々の施策、事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに、令和3年度事業に引き続き、令和4年度事業についても、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来どおりの事業実施ができなかったことを踏まえ、数値目標は令和3年度と同じとし、感染症拡大防止対策として実施したものや、様々な工夫をして実施できた事業も含めて自己評価を行った。

点検・評価の客観性を確保するため、「坂出市教育評価委員会」を令和5年7月10日に開催し、教育に関し学識経験を有する委員の方々にご意見、ご助言をいただいた。

### 坂出市教育評価委員会

委員長	有馬	道久
委員	井上	博樹
委員	高橋	恵
委員	横井	鈴代（欠席）

## III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、令和4年度において以下の活動を行った。

### 1. 委員構成

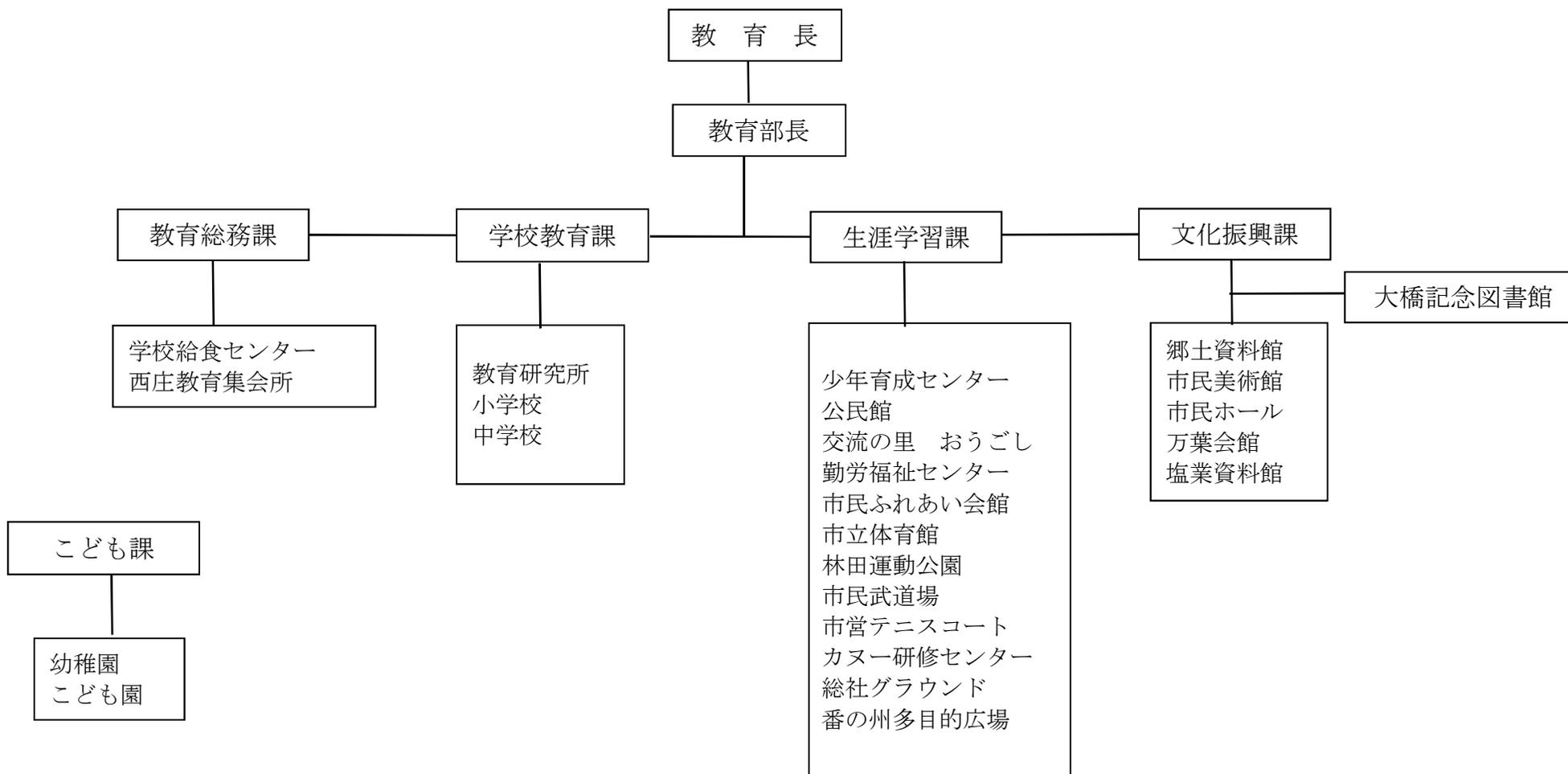
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正された。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていたが、新制度では市長が議会の同意を得て任命されることとなる。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、令和5年3月31日現在の委員構成は次のとおりである。

### 坂出市教育委員会

教育長 山田 知志、 委員 漆原 恵子、 委員 山地 誠治、 委員 林 陽子、 委員 川中 祥照

## 2. 教育委員会事務局の組織図



## 3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、令和4年度は合計13回開催した。

教育委員会定例会	12回開催	議案40件	報告63件
教育委員会臨時会	1回開催	議案1件	

#### 4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられる。

- (1) 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
  - (2) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
  - (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられている。

実施日	議 題
10月14日	教育大綱の改訂について

#### 5. 教育委員会のその他の活動

##### ①要請訪問

市立幼稚園3園、市立こども園3園、小学校9校、中学校4校をすべて訪問。

##### ②香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

開催中止

##### ③市町教育行政意見交換会

日 時 令和4年7月25日  
場 所 県坂出合同庁舎6階会議室（坂出市江尻町）  
出席者 教育長・教育委員1名

#### IV. 点検・評価の評価基準

次ページ以降に、教育大綱に基づく具体的施策の点検と、評価対象には事業評価シートを掲載している。

##### ●各課による自己評価基準

区分	評価内容
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

##### ●評価委員による評価基準

区分	評価内容
S	目標達成以上の効果があった。
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

# 坂出市教育大綱

## 基本理念

### 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

## 基本目標・基本施策

#### I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

#### II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

#### III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

#### V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

#### VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護

## I 生きる力をはぐくむ教育の充実

### ① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	①外国語指導助手 ネイティブを指導助手として市内全小中学校に配置。小学校1・2年国際理解に各学年年間10h、3・4年外国語活動、5・6年外国語に1学級年間23h以上、中学校英語に1学級年間12h以上配置。 ②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備、理科室の整備等、理科の授業を充実するため、小学校8校に理科観察実験アシスタントを配置 (のべ450h)	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し、学校からの要請に応じて派遣することにより、坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い、児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	県内の公立小中学校において、教員として10年以上の勤務経験を有し、教育に熱意を有する退職教員を募り、適当と認められる者を登録し、学校からの要請により派遣する。 退職教員は、小中学校において、派遣先小中学校長の指導のもと、学校経営課題（学力向上、個別指導、特別支援教育、生徒指導対応、教員の指導力向上など）を解決するための指導・支援の活動を行う。 退職教員の派遣については、1回当たり4時間以内とする。(令和4年度 のべ1956h)	平成30年度	○ P.23

### ② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策（人格形成と規範意識の涵養）	学校教育課	不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動や虐待、体罰の未然防止や早期発見、早期対応を図る。	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、小中が連携して、児童生徒、保護者、教員の教育相談を行うことで、不登校における対応の充実を図る。また、市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。 ・いじめについては、定期的なアンケート実施と、教員による観察を強化し、未然防止に努める。また、坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめを積極的に認知し、適切に対処するよう指導している。 ・虐待については早期発見とともに、関係機関との連携により早期対応を図る。	平成12年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定を図る。	<p>①生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止、早期発見・早期対応のために、坂出中、東部中、白峰中に各1名の生徒指導補助員を配置</p> <p>②不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」、白峰中学校に「であいの部屋」を置き、3名の職員を配置</p>	<p>①平成19年度</p> <p>②平成16年度</p>	

### ③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年、増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内市立小学校4年生、中学校1年生の全児童生徒を対象に、小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し、当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童生徒の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。令和元年度より小学校4年生時の結果と中学校1年生時の結果を突合し、改善状況を把握する。</li> <li>・坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し、事前の効果的な啓発資料の作成、血液検査実施および事後の個別指導の内容、検査結果の分析、プライバシーの保護などの解決方策を協議する。 (令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の開催(書面開催)。)</li> </ul>	<p>平成24年度 (小学4年生)</p> <p>令和元年度 (中学1年生)</p>	

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。</li> <li>・特別支援教育支援員研修会を幼稚園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいの状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。</li> </ul>	平成19年度	
		こども課	特別な支援が必要な幼児一人ひとりの特性や障がいに応じた支援を行い、その発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園に在籍する特別な支援や介助を要する幼児の特性や障がいの状態に応じ、各園1名～2名の特別支援教育支援員の配置をしている。</li> <li>・特別支援教育支援員の資質向上のため、県教育委員会特別支援教育課より講師を招請し、発達障がいのある幼児への理解を深める研修をしている。</li> <li>・支援が必要な幼児への支援や成長の過程等を月例報告や年度末のまとめで振り返り支援の改善を行っている。</li> </ul>	平成17年度	

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会	学校教育課	<p>①坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。</p> <p>②坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会 市内幼小中の幼児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民啓発を図ることを目的とする。</p>	<p>①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。発表校は、中学校3～4校、小学校4～5校、友情発表（綾歌郡中学校）1校である。 令和4年度は、会場を改修工事を終えた市民ホールに戻し、参加者を制限するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら開催した。また、各校の発表を市内全小中学校、関係機関等に冊子として配布した。同時に、ホールにおいて人権展覧会作品の一部展示を行った。</p> <p>②「人権週間」に合わせて、市合同庁舎玄関（R2年会場変更）において市内全幼小中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作品を展示する。令和3年度より土日も開催している。</p>	①昭和56年度	
	坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会				②昭和61年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
8	人権・同和教育だより P T A人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②P T A人権・同和教育研修会 P T Aが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とP T Aが協力し、保護者を対象とした人権研修会を企画・実施している。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって人数制限など感染予防対策をとりながら8校が実施し、総計1,361名が研修会に参加した。集合開催を中止した学校においては、自校の取組をまとめた啓発資料を保護者に配布したり、人権作文の発表を全学年の保護者に聞いていただく機会を設けたりする取組もみられた。	①昭和51年度 以前より発行	
9	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼小中人権・同和教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研究を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・こども園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に現地研修(年2回)、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	①昭和56年度  ②昭和39年度	

## ⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	こども課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるよう、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。 180千円で3園分。	平成20年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	こども課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼稚園やこども園の5歳児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、作法や情操を養う。	① 令和5年度は、第16回の開催を予定している。新型コロナウイルス等予防に留意しながら、集合による茶道教室を実施する。 ② 各園での茶道の地域指導者による茶道教室も合わせて実施する。	平成19年度	
12	幼稚園評価と保護者、小学校及び地域と連携した園づくり	こども課	保護者、小学校、地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	家庭や地域との連携を密にできるよう園便り・学級便り等の発行や写真のパネル展示等により、日々の子どもの姿や保育の意図を保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう工夫をしている。 令和4年度は、「坂出市就学前の子どもの教育・保育研究会」において、これまでの研究のまとめの冊子を作成するとともに、公立幼稚園、保育所、認定こども園で学びを共有した。保護者、地域に向けての情報発信として、各園所のKIDSドキュメンテーションを作成した。	平成21年度	○ P. 23
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談・幼保こ小連絡会)	こども課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、こども課・けんこう課・学校教育課が連携して、子育て支援の充実を図る。	① 令和4年度の実施については、感染症対策をしながら実施していった。国公立・私立幼稚園・保育所・認定こども園へ健診スタッフが出向いていき、事前調査や行動観察及び個別健診を通して、子どもの発達の状態を把握して、そこから見えてきた発達の特性を踏まえ、保護者との面談を行い子育て支援を実施した。 ② 坂出市在住の令和4年度に5歳になる対象者341名のうち337名(98.8%)が受診した。未受診者4名については、1次健診を勧めた。 ③新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年度の巡回相談は、幼稚園1園1名だった。 ④8月5日に市内の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の校区别連絡会を実施した。就学に向けて、各園所からの情報を小学校へ伝え、円滑な接続や切れ目のない支援体制づくりに努めた。	平成24年度	

Ⅱ 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	市内5校に講師を派遣し、講演会等を開いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中小学校 令和4年1月21日・2月1日 岡山県視覚障害者協会 理事長 竹内 昌彦氏 講演 シンガーソングライターmon (高橋亜美) 氏 講演・歌</li> <li>・川津小学校 令和4年6月17日～令和5年3月10日(26回) KSB瀬戸内海放送 アナウンサー 中村 康人氏 講演</li> <li>・松山小学校 令和4年11月25日 洋菓子店「リビエール」パティシエ 伊勢谷 惟 氏 経営者 西 剛紀 氏 講演・実演</li> <li>・坂出中学校 令和4年8月25日 君ヶ濱一巖(元関脇 琴勇輝一巖)氏 講演</li> <li>・東部中学校 令和5年2月2日 シンガーソングライターmon (高橋亜美) 氏 講演・歌</li> </ul>	平成24年度	

### Ⅲ ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

#### ① 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
15	ふるさと理解推進事業	学校教育課	豊かな自然や教育的・文化的な資源を活用して体験的な学習、探究的な学習を実施し、自分たちの住んでいる地域やふるさと坂出への愛着や誇りに思う心、郷土に貢献しようとする意欲や態度の育成に資する。	○ふるさと学習の推進及び体験的な学習の充実 身近な自然、歴史や文化、社会教育施設や人材などの地域の教育資源（ひと、もの、こと）や社会科副読本「ふるさと坂出」を活用した探究的な学習を進めてきた。 また、コロナ禍ではあったが、実践指定校を小学校9校に拡大し、「ふるさと歴史探訪」「府中湖カヌー競技場・交流の里おうごしを核にした体験活動」「瀬戸大橋記念館を核とした体験活動」をはじめとして、地域の自然、伝統・文化、歴史、産業など、児童が興味・関心をもって楽しく学べるような教育活動を各校で工夫し、計画・実践した。その際、地域学校協働活動推進員の支援を得て、地域住民や地域の関係団体、地域の企業等と協働し、地域社会での豊かな体験の機会を増やし、地域の伝統や文化を大切にする心情を育て、地域のよさを発信し、ふるさとをよりよくしていこうとする態度を育てる。	平成26年度	

#### ② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	子どもの基本的な生活習慣、規範意識、道徳性をはぐくむため、学校、家庭、地域の連携を推進するとともに、創意工夫に満ちた教育課程の編成にもとづいた特色ある学校・園づくりを進める。	園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の連携・協働活動に基づいた教育活動を実践する。 ①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加の工夫は、コロナ禍のため分散方式によるものとなる。 ②広報活動 学校だよりや学校ホームページ、メール配信を活用した情報発信を実施し、特にコロナ禍における情報発信を重視し、広く学校の取組の理解を図った。 ③「社会に開かれた教育課程」の編成 新学習指導要領の全面実施から、小学校は2年目、中学校は初年度となり、趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施に取り組んだ。		

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	学校運営協議会設置事業	学校教育課	学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換する仕組みである学校運営協議会制度を導入し、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。	平成29年度、東部中学校、府中小学校を、さらに平成30年度は坂出小学校に学校運営協議会制度をの導入推進校（モデル校）に指定し実践研究を進めてきた。 その成果や課題を踏まえ、令和元年度、市内全小中学校を学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとした。 各学校運営協議会は、校長が作成する学校運営の基本方針を基に学校運営について協議し、地域住民等の参画を得て地域学校協働活動を推進している。 具体的には、登下校の見守り活動、合同防災訓練、学校内外の環境整備活動などについて、活動組織のもと運営している。 設置後2年間の成果を実践事例集にまとめ、各学校運営協議会の活動を紹介する冊子を作成し、実践交流を図った。	平成29年度	
18	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 （信頼される学校づくり）	学校教育課	各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者代表4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

##### ② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
19	教育研究所の研究・研修事業 （信頼される学校づくり）	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の4部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	①学校人権・同和教育啓発資料作成部会 人権・同和教育資料『心』小学校3年版、中学校3年版改訂 ②不登校・特別支援教育部会 人との絆を深め、自尊感情を高める支援の在り方を探る （教員研修のための講演会、クリスマスの集い） ③学校教育課題部会 「デジタル・シティズンシップ教育」の実践の現状と課題 ④若年教員研修部会 熟練教員の指導力を若年教員へ継承する「若い教師の研修会」の開催 ・共通研修①（小・中学校） ※不登校・特別支援教育部会合同研修 「不登校等・困り感のある児童生徒への指導・支援の在り方」 ・校種別研修（小・中学校） 「先輩教員の体験談から学ぼう」 ・共通研修②（小・中学校）「お悩み解消座談会」 ・連携研修（小学校）附属坂出小学校「わくわ授業づくりワークショップ」への参加	昭和55年	○ P. 24

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象																																																			
20	放課後子ども教室推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	<p>・金山地区</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>テニス教室</td> <td>20回 254人</td> <td>20回 256人</td> </tr> <tr> <td>そろばん教室</td> <td>9回 164人</td> <td>7回 109人</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>5回 103人</td> <td>3回 59人</td> </tr> <tr> <td>パステルアート教室</td> <td>1回 12人</td> <td>実施終了</td> </tr> <tr> <td>集団宿泊体験学習</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>お菓子、料理教室</td> <td>未実施</td> <td>1回 12人</td> </tr> <tr> <td>華道教室</td> <td>1回 4人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>栽培・収穫体験教室</td> <td>1回 18人</td> <td>2回 24人</td> </tr> <tr> <td>島巡り教室</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>防災キャンプ</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>絵画教室</td> <td>4回 18人</td> <td>4回 18人</td> </tr> <tr> <td>稲刈り体験教室</td> <td></td> <td>1回 24人</td> </tr> <tr> <td>粘土細工教室</td> <td></td> <td>1回 6人</td> </tr> </table> <p>・西庄地区</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>自主学习</td> <td>9回 24人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>16回 91人</td> <td>18回 73人</td> </tr> </table>		R3年度	R4年度	テニス教室	20回 254人	20回 256人	そろばん教室	9回 164人	7回 109人	ボール運動教室	5回 103人	3回 59人	パステルアート教室	1回 12人	実施終了	集団宿泊体験学習	未実施	未実施	お菓子、料理教室	未実施	1回 12人	華道教室	1回 4人	未実施	栽培・収穫体験教室	1回 18人	2回 24人	島巡り教室	未実施	未実施	防災キャンプ	未実施	未実施	絵画教室	4回 18人	4回 18人	稲刈り体験教室		1回 24人	粘土細工教室		1回 6人		R3年度	R4年度	自主学习	9回 24人	未実施	ボール運動教室	16回 91人	18回 73人	平成21年度	
	R3年度	R4年度																																																							
テニス教室	20回 254人	20回 256人																																																							
そろばん教室	9回 164人	7回 109人																																																							
ボール運動教室	5回 103人	3回 59人																																																							
パステルアート教室	1回 12人	実施終了																																																							
集団宿泊体験学習	未実施	未実施																																																							
お菓子、料理教室	未実施	1回 12人																																																							
華道教室	1回 4人	未実施																																																							
栽培・収穫体験教室	1回 18人	2回 24人																																																							
島巡り教室	未実施	未実施																																																							
防災キャンプ	未実施	未実施																																																							
絵画教室	4回 18人	4回 18人																																																							
稲刈り体験教室		1回 24人																																																							
粘土細工教室		1回 6人																																																							
	R3年度	R4年度																																																							
自主学习	9回 24人	未実施																																																							
ボール運動教室	16回 91人	18回 73人																																																							
21	放課後児童健全育成事業（仲よし教室・みのり教室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から6年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実に図る。	<p>・放課後児童健全育成事業（感染拡大防止事業） 5,608,147円 感染拡大防止対策として、事業を継続的に実施していくために必要な衛生用品や備品の購入、簡易な施設の改修等の環境整備を図った。なお、財源として子ども・子育て支援交付金を活用し、事業を実施した。</p> <p>・放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 3,415,500円 放課後児童支援員等処遇改善事業 3,425,400円 新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く放課後児童支援員等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、委託業者に補助金を支出した。</p>	昭和48年度																																																				

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
22	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	本市の新しい学校給食の拠点施設として、衛生管理基準を満たし、安全・安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図るために学校給食センターを建設する。	<p>・学校給食センター整備運営事業モニタリング業務委託料 4,800,000円</p> <p>P F I 事業者が行う業務の内容が要求水準を満たしているか等を監視するモニタリング業務を委託し、より効率的かつ効果的な事業を実現できるよう整備を進めたことで、令和4年6月末までに完成し、9月から市内幼稚園、小中学校に給食を提供し始めた。</p>	平成29年度	○ P. 24

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
23	小・中学校施設整備事業	教育総務課	<p>学校施設は、日常において子どもや教職員の生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担う。</p> <p>学校施設が常に健全な状態を維持できるよう適切な維持管理を行う、</p>	<p>小学校費 修繕料・工事費 22,946,000円</p> <p>【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プール便所改修等工事（林田小） 6,980,000円</li> <li>・空調機取替工事（金山小外2校） 2,292,000円</li> </ul> <p>中学校費 修繕料・工事費 30,400,000円</p> <p>【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北校舎屋上防水改修工事（坂出中） 10,934,000円</li> <li>・フェンス改修工事（白峰中） 330,000円</li> </ul>	-	
24	教育用ICT環境整備事業	教育総務課	<p>一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校インターネットシステム機器更新事業 5年総額45,408,000円</li> </ul> <p>G I G Aスクール構想により、約3,700台のタブレット端末が整備され、インターネットアクセス数が大幅に増加することから、インターネット回線を100MBから10GBに増強し、高速大容量通信に対応できる環境整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信技術支援業務委託 4,752,000円</li> </ul> <p>1人1台端末および校務支援システムなどのICT機器の効果的な利活用ができる知見のある者を学校へ配置し、積極的に支援することを目的とする。</p>	令和元年度	
25	学校再編整備事業	教育総務課	<p>少子化に伴い学校の小規模化が進行していること、多くの学校で老朽化が進み施設の長寿命化改修や建て替えの時期を迎えていることなどから、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討が必要となる。</p>	<p>令和3年度に新たな「坂出市学校再編整備検討委員会」を設置し、「坂出市学校再編整備実施計画（平成20年）」と「坂出市学校施設長寿命化計画（令和2年）」を基礎資料として、検討を重ねてきた。</p> <p>令和4年10月には検討委員会より、学校再編整備の基本的な考え方及び具体的方策について答申を受けたことから、市としての実施計画策定に向けて、学校再編整備庁内推進委員会を設置した。</p>	令和3年度	○ P.24
26	新型コロナウイルス感染症対策事業	教育総務課	<p>学校の教育活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童・生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品等を購入し、感染拡大の防止を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 13,842,756円</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容 感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費を学校規模に応じ配分した。なお、財源として学校保健特別対策事業費補助金を活用し、事業を実施した。</li> <li>・事業効果 学校教育活動を円滑に継続するために、迅速かつ柔軟に実施することができるよう校長の判断で対応できることから、効果的な感染対策を徹底的に行い学校内での感染症拡大の防止が図れた。（換気用扇風機、空気清浄機、ジェットヒーター等）</li> </ul>	-	

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
27	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「喜怒哀楽を大切に“伝える楽しさ教えます！”～アウンサー人生を振り返って～」 129名</li> <li>・ズームツアー トルコ“カッパドキア”ツアー 79名</li> <li>・天徳先生のおもしろ健康法 158名</li> <li>・何故？血液は体内で凝固するのか！ 152名</li> <li>・人生100年時代 楽しく生きる 167名</li> <li>・作法の極意 87名</li> <li>・人間として生きるには 人を人として大切に！93名</li> <li>・サクソ演奏会 156名</li> <li>・歴史を学ぼう！「源平合戦と讃岐の伝説」 55名</li> <li>・ふるさと探訪（徳島現地学習）うだつの町並み「脇町」と本楽寺・阿波踊り会館を訪ねて 112名</li> </ul> <p>※合計17回 1,188名</p>	-	
28	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つるとラタンのバスケットリー 200名</li> <li>・漢字書道 209名</li> <li>・リトミック 88名</li> <li>・山野草 217名</li> <li>・陶芸 177名</li> <li>・太極拳 134名</li> <li>・絵手紙 130名</li> <li>・げんだい書 226名</li> <li>・パソコン 162名</li> <li>全9講座 1,543名</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を減らし実施。料理教室2講座は中止。</p>	昭和42年度	
29	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話 157名</li> <li>・健康美 337名</li> <li>・やさしいヨガ 334名</li> <li>・ちぎり絵 157名</li> <li>・カントリークラフト 212名</li> <li>・初心者の手編み 117名</li> <li>・フラダンス 134名</li> <li>・煎茶と礼法 53名</li> <li>・着装とマナー 114名</li> <li>全9講座 1,615名</li> </ul>	昭和52年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
30	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	<p>勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。</p> <p>合計参加者数 2,829人</p>	平成28年度	
31	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	<p>王越町共に生きるまちづくり推進協議会など各団体と連携しながら王越町の魅力を発信していく。また、さかいでっこ探検隊やトンボ学校などさまざまな体験イベントと通じて、施設を利用していただき、市民協働によるにぎわいの創出および地域交流の促進を図っていく。</p> <p>利用者数 2,398人</p>	平成29年度	○ P. 25
32	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さかいでっこ探けん隊 計15回（575名）</li> <li>・手作り工作系 9回（277名）</li> <li>・体験学習系 4回（155名）</li> <li>・運動系 2回（143名）</li> <li>●さかいでっこガイド隊 中止</li> <li>●チャレンジ！ニューススポーツ講座 中止</li> <li>●学ぶ！未来のトンボ学校 中止</li> <li>●自然観察会 中止</li> <li>●SOMPOボールゲームフェスタin坂出 211名</li> </ul>	平成15年度	
33	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間として生きるには～人を人として大切に～」徳島県人権エンタメ集団「友輝」 阿部 千明 93名</li> <li>・歴史と人権「痛快！郡上一揆」歴史研究家 上原 敏 30名</li> <li>・同和問題を正しく理解するために～自分・人・社会～坂出市人権課副主幹 大野 和子 28名</li> <li>・子どもの人権（一社）hito.toco代表理事 宮武 将大 35名</li> </ul> <p>※合計4回 186名</p>	-	

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
34	坂出市はたちのつどい	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨からはたちのつどいを行う。	令和5年のはたちのつどいについては、新型コロナウイルスの影響に伴い、適切な感染予防策を講じ坂出市立体育館にて開催する。式典では、市長・議長からのお祝いのことは、記念品贈呈、はたちのことばなどを行い、式典後にスライド映像を上映する。 ※はたちのつどいまでに、各地区からの地区代表11名は7月より毎月1回程度会を開き、はたちのつどいの内容等について話し合う。 参加者数 396名	昭和25年度	
35	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り</li> <li>・ 生活文化展</li> <li>・ 地区敬老会</li> <li>・ 日赤・防災活動</li> <li>・ 市の行事の手伝い</li> <li>・ その他数多くのボランティア活動</li> </ul> 9団体 会員数3,692名	-	
36	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。 ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金 36団体 会員数1,308名	-	
37	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに、地域の安全・防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。	本市では、少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを毎日、午前1回・午後2回の3回実施しているほか、市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。また、青色防犯パトロール団体情報交換会を開催することで、パトロール活動についての理解を深めるとともに、意見交換を行って情報や課題の共有に努めている。	平成21年度 (補助制度創設)	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
38	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動や地域で進める子ども体験活動に対して助成することにより、各地区の町民会議が実施する事業活動との連携を強化して、地域における「みんなで子どもを育てる」育成活動の充実を図っている。	平成13年度	

### ③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
39	市内三校高等学校野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。 3高校 約100名	昭和27年度	
40	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツとして、「ナイトハイク」や「里山ハイキング」等の「ウォーキング」を中心とした行事、また、インドアスポーツとしてカローリングやスラックライン教室等を行っている。令和4年度は9つの行事と、毎月2回開催の「みんなで健幸ウォーキング」の合計で780名の参加があった。	平成21年度	
41	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎、合同庁舎、教育会館の始業前のラジオ体操放送</li> <li>各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し、毎朝6時30分からラジオ体操放送</li> </ul> 7ヶ所にて実施  令和4年度は「市制施行80周年記念 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を市立体育館で開催し、314名の参加があった。	平成25年度	
42	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	カヌー競技の普及、競技力の向上や、スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進、地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技の普及と競技力向上</li> <li>親子・一般カヌー教室の開催 2件 41名</li> <li>子ども会等カヌー体験 6件 231名</li> <li>県内小学校からのカヌー体験 11件 540名</li> <li>令和4年度全国高校総体カヌー競技の開催</li> <li>カヌースプリント・カヌースプリントジュニア・パラカヌー海外派遣選手選考会、府中湖レガッタ開催</li> </ul>	平成27年度	○ P. 25

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
43	ふるさと坂出スポレク大会	生涯学習課	<p>四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として、市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し、地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。</p>	<p>各地区でチームを構成し、競技成績により順位・得点を付ける得点競技と、いくつかの行事への参加人数等によって、地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。</p> <p>得点競技 アジャタ、地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操、老人クラブスポーツ大会</p> <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p>	平成28年度	
44	市立体育館改修事業	生涯学習課	<p>指定避難所にもなっている市立体育館について、空調新設工事及び公衆無線LAN設置工事を行い、災害時の避難者の安全を確保するとともに、居住性を高める。</p>	<p>・空調新設工事 第1競技場に輻射式、第2競技場にハイブリッド式の空調を新設した。 事業費 令和3年度 実施設計 6,756千円 令和4年度 機械設備工事 207,900千円 電気設備工事 9,460千円 工事監理業務委託 4,290千円</p> <p>・公衆無線LAN設置工事 かがわWi-Fiの無料アクセスポイントを、1階ロビー及び第2競技場に設置した。 事業費…434千円（令和4年度）</p>	令和3年度	○ P. 25

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
45	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心に利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館天窓防水修繕工事 814,000円	昭和54年度	
46	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度	
47	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 図書館イベント「本と珈琲と音楽と」参加人員 204人 「録音の会」参加人員 69人 「みんなの夢でんしゃ」「教科書展示」「本からとびだしたキッズルーム」他、毎月展示を行う。 広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度	
48	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	坂出市子ども読書活動推進計画（第4次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。 「ブックスタート」参加人員243人 絵本贈呈率100% 「紙芝居の会」参加人員91人 「わらべうたであそぼう」参加人員169人 「としょかんカンガルータイム」参加人員161人 「天体観察会」参加人員278人 「外国語絵本よみきかせ」参加人員103人  児童書年間貸出数 R4年度 191,299冊 数値目標 200,000冊	平成18年度	○ P. 26

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
49	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	当館が約10年間取り組んできた「郷土の作家シリーズ」番外編として初めて外国人作家を紹介。フランス国籍のオスカー・ロベラス氏はアルゼンチン、ヨーロッパを拠点とし、徳島県神山町のアトリエでは地域を巻き込んだ国際的なアート・プログラムに参画している。本展では絵画をはじめ版画、タペストリー、石彫、陶芸など多岐にわたる作品群はインスタレーションの手法で見事に構成され、内容の濃い会場となった。継続展としては、フォトコン、書道、障がい者アート、現代童画、公募ジュニア、現代仏像、収蔵品展2件などを実施した。	昭和61年度	○ P. 26
50	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いを寄せ、万葉の島である沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	柿本人麻呂の長歌を陰刻した茶器で煎茶とともに万葉集の響きを楽しむ「万葉茶会」（令和4年度は瀬戸内国際芸術祭2022公式イベント『万葉茶会と講演「香を楽しむ」』として開催）や、伝統文化の人形浄瑠璃公演を行った。また、小学生を対象にした万葉まつりや、萩原朔太郎没後80年にあわせた萩原朔太郎大全2022も開催した。 ・4月17日 第35回狭岑島万葉茶会（417人） ・10月11日 文楽人形音楽演劇「True Life」（34人） ・万葉まつり「沙弥島でミニ土器を作ろう！」（12人） ・10月1～30日（土日祝のみ）萩原朔太郎大全2022（274人）		
51	坂出歴史文化講座（レキブンコウ）	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらう。	坂出市役所本庁舎1階市民ロビーにおいて讃岐国府跡や開法寺跡に関する国府教室を開催した。また、地元で行われている「讃岐国府まつり」に併せて、讃岐国府跡や開法寺跡に関する講座を開催した。 ・10月19日「国府教室」（30人） ・11月27日「讃岐国府まつり」（10人）	平成25年度	
52	文化芸術事業	文化振興課	ふれあい会館、教育会館、美術館等の文化施設を活用しながら、市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め、文化振興を図る。	・7月10日「バス・バリトン村山岳リサイタル」（351人） ・毎月第3日曜日「ひついでし福王寺・夢・アート・スタジオ日本画展」（延べ41人） ・7月31日、8月11日、12月26日「ひついでし福王寺・夢・アート・スタジオ造形教室」（25人） ・10月15日「夜の美術館コンサート」（29人） ・11月3日「朗読劇 家族草子」（300人） ・12月4日「第2回子ども芸術学校」（延べ83人） ・12月11日「冬の親子ワークショップ」（44人） ・12月18日、1月15日「福王寺一彦アート講座」（延べ21人） ・3月24日「美術館ワークショップ」（5人）	平成26年度	○ P. 26

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
53	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3、4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	・校外学習（林田小学校 42人、府中小学校 10人） 毎年、小学3・4年生等を対象に塩業資料館の学習見学を実施しており、市内の学校2校から計52人が校外学習として訪れ、塩業資料館の学習見学と塩の実験を体験した。	平成25年度	
54	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査、土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査、また工事の際における現場での立会などを行い、貴重な埋蔵文化財を保護する。	土木工事や民間施設の建設工事等に先立ち、工事立会、確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護を図った。 ・文化財保護法第93条関係 3件 ・文化財保護法第94条関係 3件	平成3年度	
55	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定されたことから、調査指導専門委員会を開催し、具体的に調査内容等の検討を進め、国の史跡指定を目指す。また、保存活用検討会議を開催し、今後の讃岐国府跡の保存、活用方法を検討する。	・讃岐国府跡調査指導専門委員会を3回(9月13日・12月20日・3月23日)開催し、国への意見具申にむけた総括報告書の内容や評価について検討を行った。  ・讃岐国府跡発掘調査報告会を3月21日に開催し、出雲弥生の森博物館 花谷 浩氏に講師を依頼し、「古代日本と讃岐国府跡-その保存と活用に向けて」と題して講演を実施した(100人)。	平成26年度	
56	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理(主に除草)を実施すること。また、市内の文化財所有者や保護団体に、保存、管理、活用に必要な費用を補助することを通じ、貴重な文化財の保護活用に努める。	・指定文化財等周辺の除草、剪定 ・指定文化財の保存、管理、活用に対する補助 ・1月30日 文化財保護審議会開催 ・文化財関係書籍作成事業 ・「鍋島灯台」の重要文化財(建造物)指定	昭和56年度	
57	開法寺跡発掘調査事業、遺物整理事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定し、讃岐国府跡との関係で重要遺跡である開法寺跡について、昭和45年から平成19年度までの調査により出土した遺物整理を進め、平成28年度からは開法寺跡の発掘調査をおこない、国指定史跡への追加指定を目指す。	これまで未整理であった過年度調査で出土した遺物の整理作業を行い、本年度では過年度調査で出土した遺物について、整理・実測(土器：約220点、瓦：約320点)、写真撮影(約450点)等を実施し、開法寺跡から出土した銅印をはじめとする出土金属製品の保存処理を実施した。 また、現場で採取した土壌サンプルから当時の古環境を復元するため、花粉分析調査を実施し、今後の讃岐国府跡の調査における重要な参考データを得ることができた。	平成26年度	
58	讃岐国府跡保存整備事業	文化振興課	令和2年3月に国史跡に指定された史跡讃岐国府跡の適切な保存管理を実現するため、指定地における民有地の買上げ(公有地化)および将来的な整備を図る。	史跡指定地のうち、民有地(農地)である10,697.63㎡(実測面積)の公有地化を達成し、後世にむけた適切な保存管理を実現することが可能となった。また保存活用計画に基づく整備事業を円滑に進めていくうえでの環境基盤を整えることができた。	令和4年度	○ P. 27

# 評価対象事業

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

② 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
2	さかいでスクールサポート ティチャー派遣事業	学校教育課	<p>平成30年度から始まった本事業は、学校で起こる児童生徒の様々な問題(学力向上、生徒指導、特別支援など)及び教職員の指導育成に、ベテランの退職教員の力を借りて、より迅速かつ適切に対処し、正常な授業、学級を取り戻し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを支えるものとなっている。</p> <p>学期途中で困難な状況に陥り、それを打開するために緊急派遣を希望する学校にも対応し大きな成果を上げることができた。</p>	B	B	充実	<p>令和4年度各校からの派遣希望時数は2,978時間を超えている。しかし、派遣実績は1,956時間であり、派遣希望の66%となっている。</p> <p>子どもたちの未来を拓く力を育むために、少しでも各校の派遣のニーズに対応していきたい。</p> <p>また、教職員の働き方改革の視点からも学校の安定化や望ましい職場環境づくりにつなげていきたい。</p>

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
12	幼稚園評価と保護者、小学校及び地域と連携した園づくり	こども課	<p>市立幼稚園、保育所、認定こども園の代表者が集まり、「みんなでつくる坂出らしい就学前教育・保育～幼児理解や保育内容・評価を深めるために～」を目標にして、食育、自然体験、行事の3グループによる研究を香川大学松本教授の指導を受けながら進めていった。</p> <p>坂出市の幼児教育保育施設の小規模である良さや強みを見つけながら研究を進めていくことで、代表者同士の共感や連帯感が育まれていったと感じる。</p> <p>これまでの研究のまとめとして冊子を作ったことで、自己有用感や達成感につながることができたと捉えている。</p>	A	B	継続	<p>この研究会を継続し、市立の幼稚園、保育所、認定こども園から、代表者が入れ替わりながら多くの保育者が研究に参加できるようにしていくとともに、坂出市の幼児教育・保育の質がより向上できるよう研修の充実に努める。</p> <p>保護者や地域に開かれた園づくりや小学校教育との接続の在り方にも視点をもって取り組んでいきたい。</p>

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
19	教育研究所の研究・研修事業（信頼される学校づくり）	学校教育課	<p>喫緊の教育課題を積極的に取り上げ、教員一人一人の資質能力の向上を図る視点から研究内容が工夫されている。</p> <p>特に不登校・特別支援教育部会では、個々の不登校児童生徒の状況を適切に把握し、多様な支援を実施することが必要であることから臨床心理士（スクールカウンセラー）の講師を招聘し講演会を開催した。</p> <p>4部会の研究は、研究紀要にまとめ、市教育研究所HPで公開する予定です。教育研究所所員のみならず、市内全小中学校の教職員の指導力向上に大きく寄与しており、その成果は高く評価できる。</p>	A	A	継続	<p>各部会においてよりよい教育活動と教職員の資質向上のために理論と実践を行う。</p> <p>特に、学校教育課題部会では、ICT活用的一方で課題となっている情報モラルについて、「デジタルシティズンシップ教育」をテーマとして児童生徒の行動変容を促す学びの実現を目指した研究に取り組んでいく。</p> <p>また、若年教員研修部会においては、附属坂出小学校との連携を図りながら研究を進めていく。</p>

##### ④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
22	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	<p>令和3年度から建設工事を開始した学校給食センターは、令和4年6月末までに工事を完了し、約2か月の開業準備期間を経て、9月より市立幼稚園、小中学校を対象に約4,000食の給食提供を開始することができた。</p>	A	S	充実	<p>安心安全でおいしい学校給食を提供するとともに、食にかかる情報発信や地産地消の推進等、食育計画に基づき市民の食生活をサポートする。</p>
25	学校再編整備事業	教育総務課	<p>検討委員会を令和4年度には3回開催し、加えて先行事例の視察として、東かがわ市の小中一貫校への現地視察を行った。</p> <p>検討を重ねた結果、諮問していた小中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方および再編整備の具体的方策について、令和4年10月に答申を受けることができた。</p>	B	B	継続	<p>実施計画の策定に向け、学校再編整備庁内推進委員会による方針を作成するとともに、概ね5年程度を目途とする前期再編を計画的に進めていく。</p>

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
31	交流の里 おうごし	生涯学習課	令和4年度については、前年度のような休館もなく、コロナに対する理解が増し、十分な対策も講じられたこともあり、利用者数・使用料ともに増加した。	A	A	継続	令和5年度はウィズコロナ、アフターコロナへの取組を意識しつつ、王越町共に生きるまちづくり推進協議会など各団体と連携しながら王越町の魅力を発信していく。 また、さかいでっこ探けん隊やトンボ学校などさまざまな体験イベントを通じて、施設を利用してもらい、市民共働によるにぎわいの創出および地域交流の促進を図っていく。

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
42	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	新型コロナウイルス予防に関する対策に努めながら、令和4年度全国高校総体カヌー競技の開催に成功した。 また、令和3年度に開催された2020東京オリンピックに参加のハンガリーチームの事前合宿地となり、身近でオリンピックに触れることのできたことでモチベーションアップにつながった地元高校が総合で準優勝となるなどの成果があった。 また、普及の面では県内の小学校等からカヌー体験の申し込みがコロナ禍の中でも増加し、多くの子供たちにカヌー競技に触れる機会を提供することができた。	A	A	継続	今後も競技用備品等を充実させ、小学生から高校生まで横断的な競技力の充実を図っていく。 また、カヌーの魅力を発信し、一人でも多くの子供や大人がカヌーに触れる機会を増やしていく。 また、令和4年度全国高校総体の開催地となったことや、カヌー強豪国であるハンガリーが選んだオリンピック事前合宿地として国内チームの合宿誘致にも取り組み、本市の活性化にもつなげていく。
44	市立体育館改修事業	生涯学習課	市立体育館の空調設備について、令和3年度に実施設計、令和4年度に新設工事を行い、令和5年度より空調が稼働できることとなった。 また令和4年度に公衆無線LAN設置工事を行い、2階小アリーナ及びロビーにおいてかがわWi-Fiの使用が可能となった。	A	A	継続	老朽化している設備の改修等について、優先度の高いものから実施していく。

## VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

### ① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	自己評価		委員評価		今後の方向性
48	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式のもと、従来の館内定例行事を継続実施したほか、コロナ禍において中止を余儀なくされた講演会や出前授業などを、感染防止対策を講じたうえでほぼ従来どおり実施することができた。 館内の展示を工夫したり、多くのイベントを通して読書推進を図った。	A	A	継続	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、今後も市民協働で行事の開催を継続。 子どもたちの読書への関心や意欲を高めるため、関連部局と連携し、読書環境の充実に努めていく。
49	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	平成23年度「市民美術館の在り方検討委員会」より提案のあった、「10年間をスパンとし、地元作家を紹介し顕彰する事業」が令和3年度に終了。 令和4年度は、その番外編としてコロナ禍で、令和2年度に紹介できなかったフランス人アーティストを取り上げ、会期中にはアーティストによる、解説や版画実技講座など現代アート全般をアピールする機会となった。	A	A	継続	過去10年間の収集作品や資料を様々な角度から紹介し、付加価値を高め、紹介するプログラムを提供する。 さらなる市民の期待に応えるべく新たな企画展を模索する。 併せて保管や展示の環境を向上させるため、防災や空調、照明、外壁塗装などの設備更新は近々の課題でもある。
52	文化芸術の振興「文化芸術事業」	文化振興課	市制施行80周年記念事業および市民ホール再開記念イベントとして、「バス・バリトン村山岳リサイタル」、「朗読劇 家族草子」を実施した。 また、令和3年度に引き続き「子ども芸術学校2022」を開催したほか、郷土の芸術家による事業として、親子を対象とした「冬の親子ワークショップ」、高校生を対象とした「美術館ワークショップ」を開催した。 坂出高校出身の女性演奏者2名を招いての「夜の美術館コンサート」を開催した。 万葉会館では、人形浄瑠璃に音楽を組み合わせ、伝統文化を身近に感じられる公演を開催した。 櫃石島では、日本画家の福王寺一彦氏の「福王寺一彦アート講座」「ひついで福王寺・夢・アート・スタジオ日本画展」をそれぞれ開催し、市民が芸術作品を鑑賞しワークショップで芸術に触れる機会の創出を図った。	A	A	継続	本市の文化施設を活用するとともに、本市とかかわりのある芸術家を招くことで、幅広い世代の方々に多様で良質な文化芸術に親しみやすい環境を創り出し、その機会を増やしていくことに努めていく。

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性
58	讃岐国府跡保存整備事業	文化振興課	<p>本市の貴重な歴史遺産である史跡讃岐国府跡について、将来にわたり適切な保存管理を実現することが可能となった。</p> <p>また、令和4年3月策定の「史跡讃岐国府跡保存活用計画」に基づく整備事業を円滑に進めていくうえでの環境基盤を整えることができた。</p>	A	S 充実	<p>今後は整備委員会の設置および整備方針（整備基本計画・整備実施計画）を策定し、史跡讃岐国府跡の保存と活用を両立しながら、にぎわいの創出や地域交流の促進を図っていく。</p>